

令和2年度 自己評価・学校関係者評価の結果について

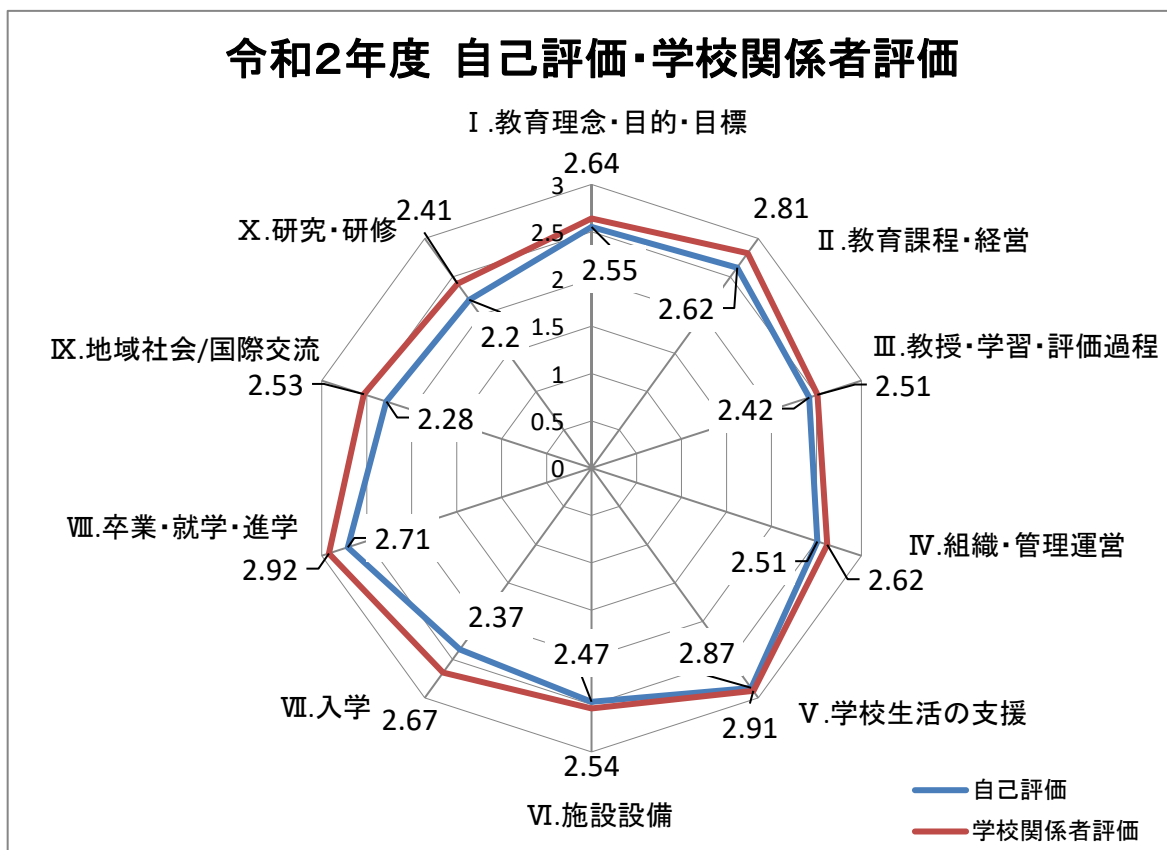
<目的>

学校経営・管理及び教育活動、研究活動等に対する自己点検・自己評価を継続的・循環的に行い、改善点を見出し、教育活動の質向上を目指すとともに、地域ニーズに応える魅力ある学校となるよう努める。

<方法>

- I. 教育理念・教育目的・教育目標
- II. 教育課程・経営
- III. 教授・学習・評価過程
- IV. 組織・管理運営
- V. 学生生活の支援
- VI. 施設設備
- VII. 入学
- VIII. 卒業・就業・進学
- IX. 地域社会/国際交流
- X. 研究・研修

10領域179項目について3段階で評価した各領域の平均点を示した



<課題・改善点>

- II. 実習評価方法の検討。
 - ・設置主体との連携した臨地実習指導の充実、実習評価体系の見直し。
 - ・授業準備、自己研鑽の時間確保。
- III. 視聴覚機器・教材の確保。
 - ・教授の評価結果活用システムの構築。
- IX. 地域への発信や地域との交流の充実。
 - ・留学や海外で看護職に就くことを希望する学生の支援。
- X. 教員の研究活動の支援と保障、研究時間の確保。